

岩手から世界を変える！

think globally, act locally

けい子の青空レポート



岩手県議会議員

吉田けい子 35歳

PROFILE 昭和53年1月24日盛岡市生まれ。津志田保育園、津志田小、見前中、盛岡白百合学園高、上智大卒業。アパレル企画デザイン職を経て、青年海外協力隊として南米ボリビアへ。岩手県男女共同参画センター勤務。2010年7月の補欠選挙で初当選。2011年9月再選。農林水産常任委員、再生可能エネルギー調査特別委員。自然との共存&3S（スロー、スモール、シンプル）。誰もが自分らしく『生きる』事のできる持続可能な社会を目指します。

編集発行 吉田けい子事務所

〒020-0838 岩手県盛岡市津志田中央1-4-26 パークウェイホームズ A101

(TEL) 019-681-6006 (FAX) 019-681-6010

(Email) yoshidakeiko.iwate@gmail.com

(HP) <http://www.keiko-yoshida.com/>

(twitter) @aozorakeiko

(facebook) 吉田敬子



Vol. 9

2013年新春号（題字文章編集構成：吉田けい子）

平成25年1月24日（誕生日）発行

3回目の一般質問

～12月定例会にて～

当日の様子はインターネットで現在もご覧頂けます。

→[岩手県議会のホームページ](http://www.pref.iwate.jp/~hp0731/)<http://www.pref.iwate.jp/~hp0731/>

私に取り上げた質問項目は・・・

- 1、知事の政治姿勢について
- 2、仕事と子育ての両立支援と少子化対策について
- 3、放射性物質の影響とその対策について
- 4、エネルギー政策と森林林業再生について
- 5、環境王国いわてにむけた取組みについて
- 6、伝統工芸品と観光振興について
- 7、若者の雇用創出のための産業振興と人材育成について
- 8、県有財産の有効活用について

2頁
へGO

9、学校図書館とキャリア教育について

3頁
へGO

(全ての質疑答弁内容はブログにて

→<http://aozoranet.exblog.jp/>)

登壇するのはやっぱり緊張します

沢山の方々に傍聴へお越し頂き有り難うございました。今度はぜひ委員会等へも傍聴へ！どんな議論されているか、議員だけじゃなく県民の皆さんに見て頂く事で、もっと引き締まった県政運営になるはず！！

わたしの想い

『子ども達は選挙権もなければ経済的な自立もない。この国を立て直さないと一番影響を受けるのは子ども達。復興を担う子ども達に夢と希望を与える「岩手県」であるよう強く願います。』

(当日の発言より抜粋)

2、「仕事と子育ての両立支援と少子化対策について」の私の考えと質問

少子化の原因に、未婚化・晩婚化・非婚化があげられる。結婚に対する価値観が変化中、多様化した価値観に対して、結婚を促す事が果たして課題解決へ繋がるかは疑問符。

少子化対策としてやるべき事は2つあると私は考える。①「不妊治療」への支援と②「待機児童の解消」。

少子化人口減少が進む中、今いる子ども達をまずは社会全体で守り育てる環境整備をし、これから結婚し子どもを持つとする若い世代に、結婚・子育てに対し不安を与える事のない社会作りをしていく必要がある。現代の女性は、結婚・出産を経ても仕事を続けたいという女性が殆どだが、実態はまだ困難な状況。

待機児童の解消について、認可外施設希望者や最初から入園を諦めている場合は、その数に含まれず、潜在的な待機児童が相当数存在すると思われるが、県での認識はどうか。また、非正規雇用等による低所得により生活が安定しない若者が増える中、非正規雇用のままであっても安定した社会保障が受けられる制度改革が必要であると考える。その支援策についての県の考えはどうか。（*不妊治療は今後の調査研究課題）

平成23年度決算特別委員会

2012.10.17



〈県の答弁〉

潜在的な保育需要について把握してない。平成23年1月に、認可外保育施設や幼稚園の預かり保育等を利用している児童の保護者約四千人を対象に、今後の認可保育所利用希望等に関する調査を実施、「認可保育所の利用が可能であれば利用を希望する者」の割合は34%で一定程度の潜在的な保育需要があると認識。23年度までの3年間で38か所の保育所整備を行い863名の定員増。放課後児童クラブは平成24年5月現在で295クラブ、21年度から41クラブ増だが、県内の保育所における待機児童数は増加傾向と認識。保育料は、国が全国一律に定める保育所徴収金基準額を基本に市町村が独自に設定、現在県内全市町村において国の基準額を下回って保育料を設定している。



初めて座長（司会）を務めました！（平成24年11月20日）

「本音で語ろう県議会」

県議会と県民の皆さまとの意見交換の場。

9月定例会中に行われた平成23年度決算特別委員会の審議報告を行い、各県議会議員が県民の皆さんからご意見ご提言等を伺いました。

開催日時の関係もありますが、若者や女性の参加がとても少なく残念でした。紫波会場には34名の方々がご参加くださいました。



いわて森林感謝祭（植樹）@西和賀町
10月13日

〈県の答弁〉

平成 22 年度は施設の集約等により図書整理の業務が増大した学校に対して時限的に非常勤職員を配置したものの、それが一段落したことから現在の 3 校の配置に留まっている。限られた人員・予算の中で検討を進めたい。高校生が読書に親しむ環境作りが重要だと考えている。

平成 23 年度からキャリア教育全体計画を普通高校を含む全ての県立高校において作成し、日常の教育活動を含む学校教育全体で、キャリア教育の系統的かつ組織的な推進に取り組んでいる。

こちら現在調査研究中！

1. ドクターヘリ広域連携

県では H24 年 5 月からドクターヘリ導入。

これまでの要請回数 200 回（1 日あたり 0.92 回）運航回数 174 回（1 日あたり 0.8 回）／H24. 12. 10 現在。

消防署との初動連携がとても重要！県の各市町村への徹底指導が今後さらに必要だと考える。

2. 卸売市場整備計画

現在第 9 次岩手県卸売市場整備計画策定中（H25. 2 月計画決定予定）

中央卸売市場@盛岡市について。卸売市場を取り巻く環境変化への対応が必要。

フル活用されていない会議室や体育館等を有効活用し、市場という枠にとらわれない複合施設利用等新しい発想が必要では？

9、「学校図書館とキャリア教育について」の私の考えと質問

県の高等学校の学校図書館担当職員（学校司書）配置状況は、平成 22 年度 9.2%**全国ワースト 2 位**。県として学校図書館の機能充実を怠ってきた結果では？学校図書館を利用する生徒数が減少しているからといって蔑ろにしてはいけない。**学校とは最低限の教育の機会を確保すべき場所**であり、図書に触れる子ども達が減ってきている中、学校において図書に接する機会を提供することが本来の役目と考える。現在の県立高校学校司書配置状況が 3 校となっている理由と、今後、学校図書館をどのように位置づけ、取り組んでいく考えなのか。

若者を取り巻く就労や雇用の環境が大きく変化し、若者の失業率や非正規雇用者数が増加傾向。一方、高校や大学を卒業した若者の早期離職傾向や職業観の未熟さ、社会人・職業人としての資質や能力の不足等が社会的に大きな課題。**全ての学校において、社会人・職業人としての自立を図るためのキャリア教育、総合生活力・人生設計力を育むキャリア教育が実施されるよう強く要望する**。社会への出口が近い高校生達に多様性と価値観を育む必要があり、また、震災後、故郷に貢献したいという子ども達も沢山いる事から、震災からの復興に向け、広い視野を持って、多様性にとんだ人材を育成するために、**特にも普通高校でのキャリア教育の推進が重要**と考えるが県の所感を問う。

調査研究

偶然にもそこで勤務する救命救急医師は盛岡出身！県外で活躍する岩手県出身の方々にお会いするのも嬉しいものです。



群馬県ドクターヘリ
@前橋赤十字病院の屋上ヘリポート

けい子の青空サロン

毎月第1木曜 19時~@アイーナ

県民の皆さんが主役となる政治を目指すため、県民の皆さんのご意見やご提言を伺い議論する場として『けい子の青空サロン』をこれまでは不定期で開催。3月11日の東日本大震災を機に、ライフスタイルや価値観について一緒に議論しながら、より良い社会・より良い岩手を、私たちが自らの手で創るために、2012年は『豊かな暮らしを考える』をテーマにゲストスピーカーと共に毎月第1木曜日@アイーナにて定期開催(定員20名)。2010年8月~全17回開催。

2012年は、「食(2月/参加者10人)・住(3月/14人)・衣(4月/10人)・森(9月/22人)・フリー(10月/6人)」の5回開催。

次回 第18回 **2月7日(木)**、第19回 **3月7日(木)** 19時@アイーナの予定(議会中でもあるので詳細は事務所まで)。どなたでもご参加頂けます!テーマは未定ですが、2013年第1回目は自身の抱負やこれまでの県政報告が出来ればと考えています。

「こんなテーマを取り上げて欲しい!」「この人の話が聞きたい!」等のご要望も受け付けております。こちら事務所まで。



「ゆいっこ」&「なんでもやろう会」 初・合同ボランティア活動

2012年11月11日(日)



2012年は、ほぼ見前地区在住メンバーの「なんでもやろう会(代表:村上保さん)」のご協力により、宮古市高浜仮設団地において、物置小屋作り、豚汁作り等一緒に活動する事が出来ました。「ゆいっこ」メンバーは学生から30代が多く、「なんでもやろう会」さんは凡そ60代以上の方々でしたので、世代間交流、また、他のボランティア団体との連携のあり方を学ぶ大変貴重な機会となりました。震災からもう少しで2年。3月10日(日)は、盛岡城跡公園にて、追悼祈念イベント「祈りの灯火」を開催します。昨年同様灯笼制作等のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。【いわてゆいっこ盛岡】090-4476-7083(事務局)

今年こそ!太鼓で「盛岡さんさ踊り」に参加したい!その為にはもう今から練習に参加しなくては!2013年もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します(^-^)

敬天愛人

—編集後記—

